2016年4月16日（土曜日）の読売新聞
2016年4月19日（火曜日）の下野新聞に
熊本県地震の支援について紹介されました

熊本地震の被災地にパン缶詰1000個支援へ

パン・アキモト

山岳遭難防止対策協議会が作った、遭難を防ぐための心得などが書かれた「登山ガイド」をダウンロードすることができる。

那須塩原市の製パン会社「パン・アキモト」は15日、大地震の被災地、熊本市内に同社製のパンの缶詰約1000個（2000食分）を届けることを決めた。16日、同社関西営業所にある缶詰を陸路、熊本市に運び、避難者に配布するという。

熊本地震で被災した人たちに届けられたパンの缶詰＝16日、熊本県内（パン・アキモト提供）

県内企業 支援活動が本格化

地震発生直後から支援に動いた企業もある。

災害・非常用缶詰パン「救缶鳥」を製造販売するパン・アキモト（那須塩原市）は非政府組織（NGO）日本国際飢餓対策機構と連携し、関西営業所の担当者が16日、熊本県内に入った。食料不足になりがちな小規模な避難所をワゴン車で回り、18日までに3600食の缶詰を提供した。シリア難民支援に準備していた分を回したといい、20日も3千食を配布する予定だ。

秋元義彦（あきもとよしひこ）社長は「阪神大震災の経験から生まれたパンの缶詰。支援態勢もすぐに取れるので、できうる範囲で支援したい」と話す。